

第 1 号議案 2023 年度（2023.4.1～2024.3.31）事業報告・決算承認の件

I. 2023 年度 事業報告

当財団は青少年の健全育成を目的として 1974 年に設立され、現在は子ども文庫助成事業と電子図書普及事業を行っています。子ども文庫助成は 1975 年より継続して実施している事業で 2023 年度は 110 の団体を助成しました。電子図書普及事業は、2010 年からマルチメディア D A I S Y 図書の製作を開始し、当年度は 1,419 ヶ所に配布しました。

子ども文庫助成事業

2023 年度の子ども文庫助成事業は、国内外から合計で 162 件の皆様にご応募いただき、その内、子どもの読書活動を支援するボランティアや特別支援学校、病院施設等非営利団体の皆様へ購入費助成を 77 件、100 冊の図書セットを 31 件、功労賞 2 件、合計 110 件に助成いたしました。その他の読書支援として、東南アジアの子どもたちに向けた「シャンティ絵本を届ける運動」350 冊、及び 13 の小中学校に被災地支援として図書を届けました。

1. 2023 年度 助成件数・金額

本年度の助成件数・金額は、以下の通り。

	予 算		応募件数	実 績	
	助成件数	助成金額		助成件数	助成金額
① 子どもの本購入費助成	60	18.0	81 (8)	60 (8)	18.0
② 病院読書支援 購入費助成	25	7.5	22 (1)	17 (0)	5.1
③ 子どもの本 100 冊助成	30	4.0	54 (7)	31 (7)	5.0
④ 子ども文庫功労賞	2	0.7	5 (0)	2 (0)	0.7
⑤ その他読書支援 シャンティ絵本を送る活動 被災地支援	12 校	0.8 2.0		13 校	0.5 1.9
小 計		33.0	162 (16)	110 (15)	31.2
贈呈式 費用 ※1		5.0			6.1
その他 事業費 ※2		14.9			17.3
人件費 (社会保険料・通勤費・退職 給付費用含む)		22.7			22.4
小 計		42.6			45.8
合 計		75.6			77.0

() 内は海外件数、内数 (単位：百万円)

- ※1 贈呈式は全国から受領者・関係者（約 140 名）が参加し、式典後の懇親会を 5 年ぶりに開催しました。
- ※2 コロナ禍で縮小していた財団職員による現地訪問を、今年は完全復活させました。コロナ前と同様、子どもの本購入費助成、病院・施設子ども読書活動費助成の国内応募者の活動場所に全件訪れ、海外応募者については ZOOM による面談を実施しています。

2. 子ども文庫助成事業プログラム概要

① 子どもの本購入費助成（現金助成）

- ・対象

子ども文庫、読み聞かせ団体、子ども文庫連絡会、非営利団体等、子どもたちへの読書支援活動歴が 3 年以上ある団体、及び個人。

- ・内容

児童書、絵本などの書籍や備品購入、及び講習会開催等に 1 件当たり 30 万円助成。

② 病院・施設子ども読書活動費助成（現金助成）

- ・対象

病院内で療養中の子どもたち、障害児施設、児童養護施設で過ごす子どもたち、その他読書にハンディキャップのある子どもたちに対し読書啓発活動を行う、3 年以上の活動歴がある読書ボランティア団体や公立を含む特別支援学校等の施設及び非営利団体等。

- ・内容

子どもたちが読書を楽しむための図書等の購入、及び障害のある子どもたちに対する支援機器等の購入、図書作成のための費用を含み 30 万円助成。

③ 子どもの本 100 冊助成（図書現物助成）

- ・対象

子ども文庫、読み聞かせ団体、子ども文庫連絡会、非営利団体等で、既に読書啓発活動を行っている団体。すでに活動を始めていれば活動歴の長さは問わない。

- ・内容

当財団が選書をした小学校低学年、中学年、高学年、乳幼児の 4 セットの中からお希望の 100 冊を贈呈。任意のセットの選択、もしくは 4 セットに 150 冊リストを加えた 550 冊全体の中から 100 冊を選書することも可能。

④ 子ども文庫功労賞

- ・対象

読書啓発活動に長年（20 年以上）携わり、子どもの読書活動に貢献してきた個人。
※他薦による応募に限る。

- ・内容

賞状、副賞（30 万円及び記念品）

⑤ その他読書支援

●シャンティの絵本を東南アジアの子どもたちへ届ける活動

・対象

カンボジア、ラオス、アフガニスタン、ミャンマーの子どもたち。

・内容

公益社団法人シャンティ国際ボランティア会が実施する「絵本を届ける運動」に、東日本大震災の被災地の子どもたちと参加し、東南アジアの子どもたちに絵本を届けています。2023 年度は現地語の翻訳シールを貼り付けた日本の絵本を現地に 350 冊送りました。

●被災地支援

・内容

公益社団法人全国学校図書館協議会にご協力いただき、東日本大震災被災地の岩手県・宮城県・福島県の 8 校（小学校、中学校）、令和 5 年奥能登地震被災地の石川県の 1 校（高校）、令和 5 年台風第 13 号被災地の福島県の 1 校（小学校）、令和 5 年 7 月豪雨災害被災地の秋田県の 3 校（小学校、中学校）、合計 13 校に図書を寄贈しました。

電子図書普及事業

障害があるために、紙の書籍では読むことが困難な子どもたちの読書機会を提供するため、児童書を電子化し「わいわい文庫」と名づけ、全国の図書館や特別支援学校等へ寄贈しています。あわせて、その啓蒙活動として、障害のある子どもたちの読書支援者をサポートする「読書バリアフリー研究会」の開催や関連団体の学会等への出展を全国各地で行っています。

1. 電子図書の製作、配布

2022 年度に製作した電子図書 70 作品を 2023 年度に 1,419 団体に寄贈しました。

また、当年度は 57 作品を製作し翌 2024 年度に 1,500 団体に寄贈する予定。

2015 年度から各地の図書館に協力を求め製作している「日本昔話の旅シリーズ」は、累計 88 作品に増加。その他、日本パラスポーツ協会などのご協力を得て、パンフレット等を電子化しました。

この結果、電子図書の作品数は累計で 861 冊となっております。

配布年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度	2024 年度
寄贈作品数	72	66	70	57
寄贈先	1,453	1,413	1,419	1,500（予）

・国立国会図書館からのデータ配信開始

2021 年 2 月以降、国立国会図書館の「視覚障害者等用データ送信サービス」へ「わいわい文庫」計 613 作品を提供し、障害者の方々がネット上でダウンロードして利用できるようになっています。2023 年度の「わいわい文庫」利用者数は 5,339 名

の実績となっております。（参考）全マルチメディア DAISY 図書利用者数 8,348 名

2. 定期刊行物の発行

「わいわい文庫」の利用促進と利用者の利便性向上を目指し、「わいわい文庫活用術⑫」及び、作品をカテゴリー別に分けた「わいわい文庫 Area Map」を作成しました。

3. 電子図書の啓蒙活動

①読書バリアフリー研究会の開催

各地の公共図書館の協力のもと、公益社団法人全国学校図書館協議会、開催地の教育委員会の後援を得て、障害のある子どもたちへの読書支援に必要な知識や方法を教職員、図書館員、ボランティアの皆様に学んでいただくことを目的に、大学教授などの専門家を招き研究会を開催しています。

2023 年度は、全 5 回の研修会を開催しました。具体的には、全国 4 ヲ所での現地開催と、国立国会図書館 国際子ども図書館との共催によるオンデマンド配信で開催しました。現地開催地は、岡山、広島、高知、宮城で、各公共図書館との共催事業として開催し、現地の図書館、学校教育関係者等にご参加いただきました。

② 他団体主催の出版・講演等への協力

下記の通り、主催団体の依頼を受け、6 ヲ所で出版・講演を行い、財団事業の周知を行いました。

ア) 文部科学省 子どもの読書活動推進フォーラム (4/23)

イ) 新宿区立戸山図書館 講演 (7/17)

ウ) マジカルトイボックス出店 (7/22)

エ) 日本子どもの本研究会全国大会出版 (7/29、30)

オ) 北海道図書館大会出版 (9/7-8)

カ) 日本 LD 学会出版 (10/8、9)

キ) (公財) 日本障害者リハビリテーション協会 講演 (10/20、10/28、12/9)

4. 電子図書普及事業部 経費内訳

(単位：百万円)

	予算	実績
・製作・普及等事業費	11.8	12.3
・その他 経費	10.4	8.4
・人件費	25.1	26.3
計	47.3	47.0

2023年度（2023.4.1～2024.3.31）事業報告書の附属明細書

2023年度事業報告書には、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則第34条第3項に規定する附属明細書については、事業報告の内容を補捉する重要な事項が存在しないことから作成していない。

2024年3月31日
公益財団法人伊藤忠記念財団